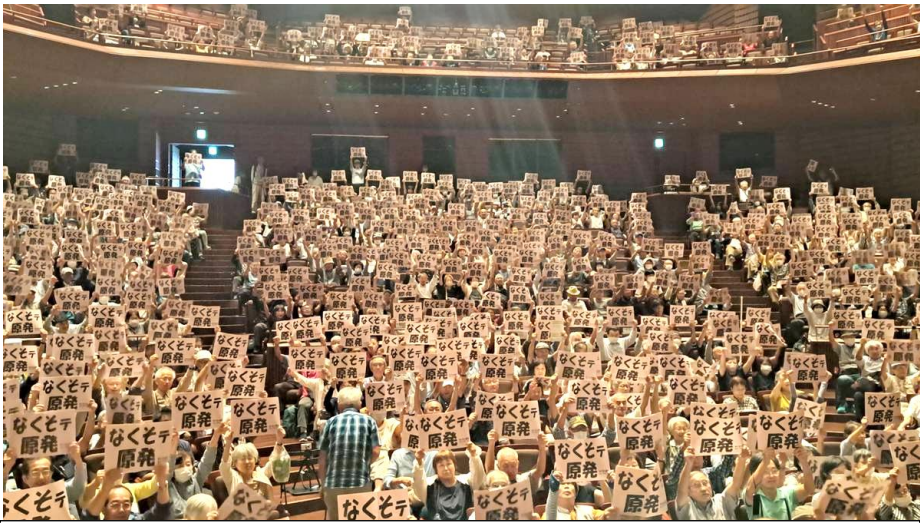


9・21なくそテ原発柏崎大集会に1,000人！ 「柏崎刈羽原発 再稼働は許さない!!」



新潟県内各地や長野、群馬、福島などから集まった1,000人の参加者で埋まった会場は、「再稼働許さない！」の熱気に包まれました。



柏崎市街をパレードして市民にアピールする中越地区ブロック長岡の参加者。



初開催のマルシェでは、野外で食事をしながら音楽演奏を楽しんだり、各ブースで買い物したり、自然エネルギーの展示や実演で学んだりできました。



芸人さんがどんな原発の話をするのだろうと興味と不安の思いの人もいる中、記者として東電会見を千五百回以上取材し

心に響いたおしどりマコ・ケンさんの話
ハミガキするように社会のことを考えよう
原発のことを誰かまかせにしない



てきたマコ・ケンさんの、事実に基づく告発は圧巻でした。運転資格がない東電の体質、原発事故の深刻さを深く知りました。

報告 「県民投票運動と再稼働問題の今後の情勢」

県民投票で決める会世話人の水内基成さんが報告。「143,196筆の署名は有権者の約12人に1人。大きな成果だ。知事が示す判断への信を問う最適な道は県民投票だ」

【参加者の声より】*金の方で電通を雇って取材誘導、番組誘導などメディアを介して世論誘導の様子をリアルに知ることができた。
*「放射線量が高い所から戻ったら鼻をかむ」「事故で亡くなった人の線量検査は本人確認が取れないのでやらない」という東電の回答は笑うに笑えないお笑い。
*県民投票条例運動後初めて水内弁護士に会って話が聞けてよかった。
*再稼働させない！の思いを新たにしました。

原発ゼロ長岡市民ネット結成14周年
11月15日(土) 13:30~
長岡市立中央図書館講堂にて
「原発と地域経済」藤堂史明さんの話
一緒に考えましょう！(同封チラシをご覧ください)

柏崎刈羽原発再稼働の是非 知事判断近づく

県民投票に背を向けた知事は、県民の多様な意見を聞くとして「首長との懇談」、問題の多い「公聴会」「県民意識調査」を行い、10月末以降に自身の判断と県民意思の確認方法を示すとしています。「県議会での確認」等ではなく、県民有権者の意思を反映する方法を求めます。

10月のアオーレ前宣伝行動は10月11日(土) 12時~12時30分 ぜひご参加を！

原発ゼロ長岡市民ネットニュース
第162号 2025年9月29日発行

連絡先 広井洋子 長岡市寿2-5-15
電話・FAX 0258-24-2870
佐藤 090-4925-3707